

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【公開番号】特開2006-93804(P2006-93804A)

【公開日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-014

【出願番号】特願2004-273250(P2004-273250)

【国際特許分類】

H 04 R 9/04 (2006.01)

H 04 R 7/12 (2006.01)

H 04 R 31/00 (2006.01)

【F I】

H 04 R 9/04 105 A

H 04 R 7/12 K

H 04 R 31/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月2日(2006.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1振動板部分と、該第1振動板部分と一体成形された第2振動板部分と、該第1振動板部分と該第2振動板部分との結合部の背面側に突出して設けられ、ボイスコイルボビンの一端が取り付けられる取付部とを備え、

該取付部が、該第1振動板部分から背面側に延設された第1延設部と、該第2振動板部分から背面側に延設された第2延設部とを含み、該第1延設部と第2延設部との間に該ボイスコイルボビンを挿入し、接着するためのボビン接着溝が規定されている、スピーカー振動板。

【請求項2】

前記第1振動板部分および前記第2振動板部分が、基材に熱硬化性樹脂が含浸されてなり、前記取付部が、該熱硬化性樹脂が硬化されて成形されている、請求項1に記載のスピーカー振動板。

【請求項3】

第1振動板部分と、該第1振動板部分と一体成形された第2振動板部分と、該第1振動板部分と該第2振動板部分との結合部の背面側に突出して設けられ、ボイスコイルボビンの一端が取り付けられる取付部とを備え、

該第1振動板部分および該第2振動板部分が、基材に熱硬化性樹脂が含浸されてなり、該取付部が、該熱硬化性樹脂が硬化されて成形されている、スピーカー振動板。

【請求項4】

前記熱硬化性樹脂が不飽和ポリエステル樹脂である、請求項3に記載のスピーカー振動板。

【請求項5】

請求項1～請求項4のいずれかに記載のスピーカー振動板を備える、スピーカー。

【請求項6】

基材の第1振動板部分および第2振動板部分となるべき部分に熱硬化性樹脂を含浸する

行程と、

金型の、ボイスコイルボビンの一端が接着される取付部を形成する部分に該熱硬化性樹脂を供給する行程と、

該含浸した熱硬化性樹脂を硬化させて該第1振動板部分および該第2振動板部分を形成すると同時に、該金型の取付部を形成する部分に供給された熱硬化性樹脂を硬化させて該取付部を形成する行程とを含む、スピーカー振動板の製造方法。